

# 岐阜県立岐阜農林高等学校

学校長 林 博 康

学校住所 本巣郡北方町北方150 電話 058-324-1145

1 会議の名称 平成28年度 岐阜農林高等学校 第2回学校評議員会

2 会議の構成 委 員 上田 善弘 国際園芸アカデミー学長  
神谷 肇 元PTA会長  
神谷 令子 北方町民生委員  
木野村ともみ 北方町教育委員  
寺島 尚江 自営業

(委員名は五十音順)

学 校 側 林 博康 校長  
守屋 康晴 教頭  
高橋 秀樹 教頭  
加藤 和宏 事務部長  
大矢 英樹 教諭(教務主任)  
三輪 嘉文 教諭(生徒指導主事)  
岡田 秀樹 教諭(進路指導主事)  
小川 正樹 教諭(農場長)

3 会議の目的 岐阜農林高校について地域を代表する方々から学校運営・改善のための意見をいただき、地域からの支援・協力のもと、地域に根ざし、特色と活力のある学校づくりを推進する。

4 会議の開催 平成29年 1月19日(木) 14:00~16:00  
岐阜県立岐阜農林高等学校 会議室  
委員4名(1名欠席)、育友会長、学校側7名(1名欠席)が出席

5 会議の概要

- ・生徒との意見交換会
- ・生徒保護者アンケート結果について
- ・学校自己評価の報告と今後の課題について
- ・意見交流

## (1) テーマ : 生徒との意見交換会の感想等

意見1 人を大切に思う心や農業の大切さなど農業高校で学んできたことを自分の進路に生かそうと思うこと。また、生かすことができることは素晴らしいことだ。

意見2 生徒の話を聞いて、農業を大切に思う心がよく育ってきており、岐阜農林高校の教育の成果がよくわかる。又、7学科の7人が部活動や生徒会活動・農業クラブ活動、体育祭の応援リーダーなどそれぞれ充実した3年間だったことがわかる。

意見3 高校で人との関わりを培い、子供の成長に関わる仕事に就ける進路を選択することに感動した。これから自分の目標を持って活躍してほしい。

意見4 自分の目標を持って生活していること、岐阜農林高校で働く基礎を学べることはすごいことだ。そういった生徒の良いところ、学校の良いところを伸ばしていけるようにしてほしい。

(2) テーマ : 生徒保護者アンケート結果について

意見1 全クラスの生徒保護者を網羅してアンケートをとっている中で、このように「A：よく当てはまる」「B：やや当てはまる」の割合が高いことは、岐阜農林高校の先生方が、生徒をよく見て指導している結果だと思う。

質問1 「学校からの文書は保護者に確実に届けられているか」の問いに対して「C：当てはまらない」が若干多いが、学期末の通知表はどのようにしているのか。

回答 生徒に手渡しをしているが、通知表と合わせて保護者の意見を記入する用紙も配布し、その用紙を確実に回収しているので確実に保護者の元に届いていると思う。

意見2 昨年度との比較になっており、多くの項目が「A：よく当てはまる」の割合が多くなっており、大変良い結果だと思う。

(3) テーマ : 学校評価の報告と今後の課題について

質問1 学習指導要領改訂に向けて授業改善や学習手法の取組をという話であったが、具体的にはどのようなことか。

回答 新学習指導要領の「どのように学ぶか」という視点からアクティブラーニングという授業手法を取り入れ、より生徒が主体的に対話的に深い学びを目指している。

質問2 今までの岐阜農林高校の活躍にSSHの活動が大きく関わっていると思うが、今年度5年目ということで終了するのか。また、今後どのように考えているか。

回答 昨年度申請して採択されなかった学校もいくつかありわからないが、来年度から5年間次期申請をする予定であり、今後もこのSSH事業を通して科学的視野に立って解決する人材育成を図りたい。もし、採択されなくても経過措置ということで、1年ないし2年間継続する道もある。

意見1 高校生のうちから私たちのような世代の違う大人に対して堂々と自分の意見を述べることができることは大変素晴らしい。また、こういう機会が多くあると感じ、大変恵まれた学校だとも思う。

## 6 会議のまとめ

今回は、2回目ということで1年間のまとめとして意見をいただいた。

今後はいただいたご意見を生かし、地域との連携をさらに推進するとともに、生徒、教職員、保護者が一体となって活力ある学校づくりに邁進したい。